



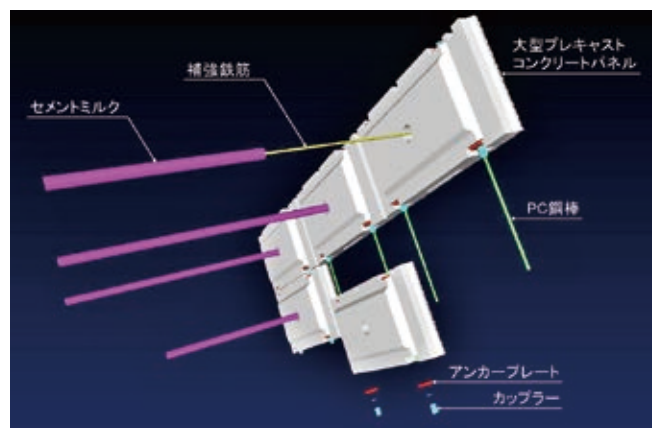
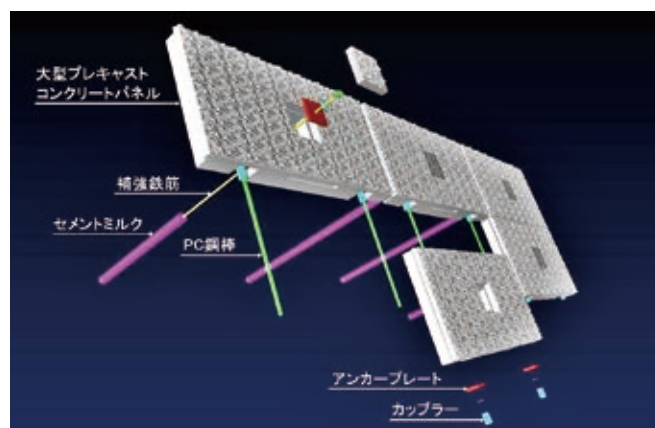
POINT

1. 耐震性に優れた法面補強用プレキャストコンクリートパネルです。
2. 急勾配斜面安定工法及び地山補強土工法に基づき、PC鋼棒によって連結されたプレキャストコンクリートパネルと地山に挿入された補強材とが一体となって切土法面及び地山の安定化を図る工法です。
3. 急勾配 (1 : 0.2~0.5) による長大法面 (最大直高20m) の構築が可能です。
4. プレキャストコンクリートパネルで地山の表面を保護しながらコンクリート壁体を構築することができるため、逆巻き工法での施工が可能です。
5. 逆巻き工法での施工により、地山掘削残土量の大幅な低減が可能です。
6. プレキャストコンクリートパネル同士をPC鋼棒によって一体化し、プレストレストコンクリートを構築することにより、耐震性の向上が期待できます。

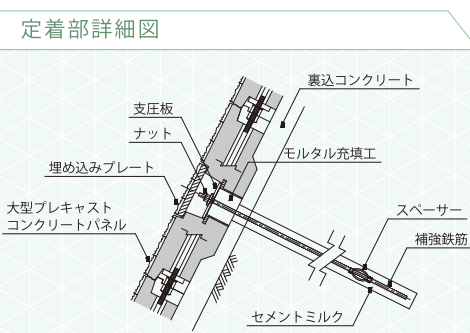
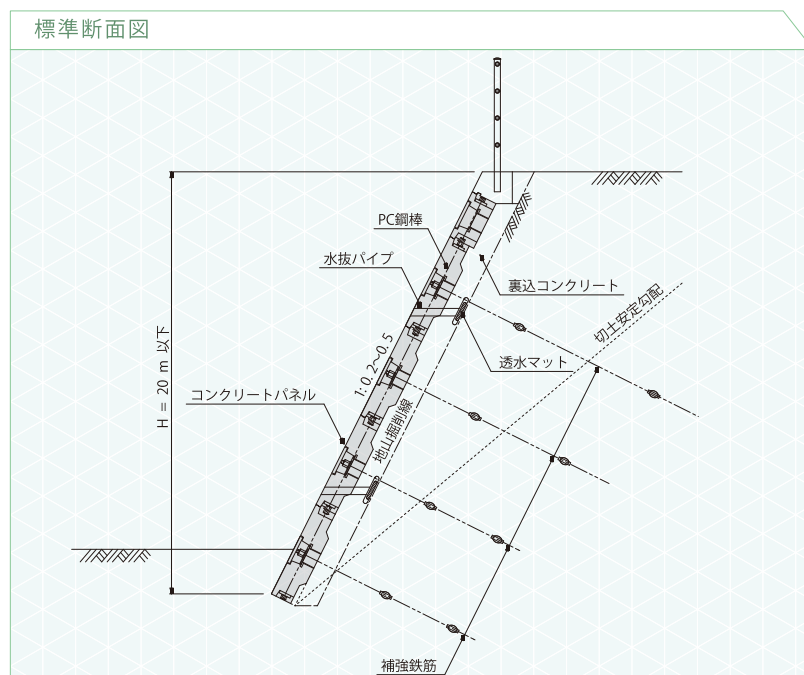
▶ 新製品

● NETIS 登録 No. QS-160035-A

RBPウォール工法 / 切土法面補強工法(逆巻き)

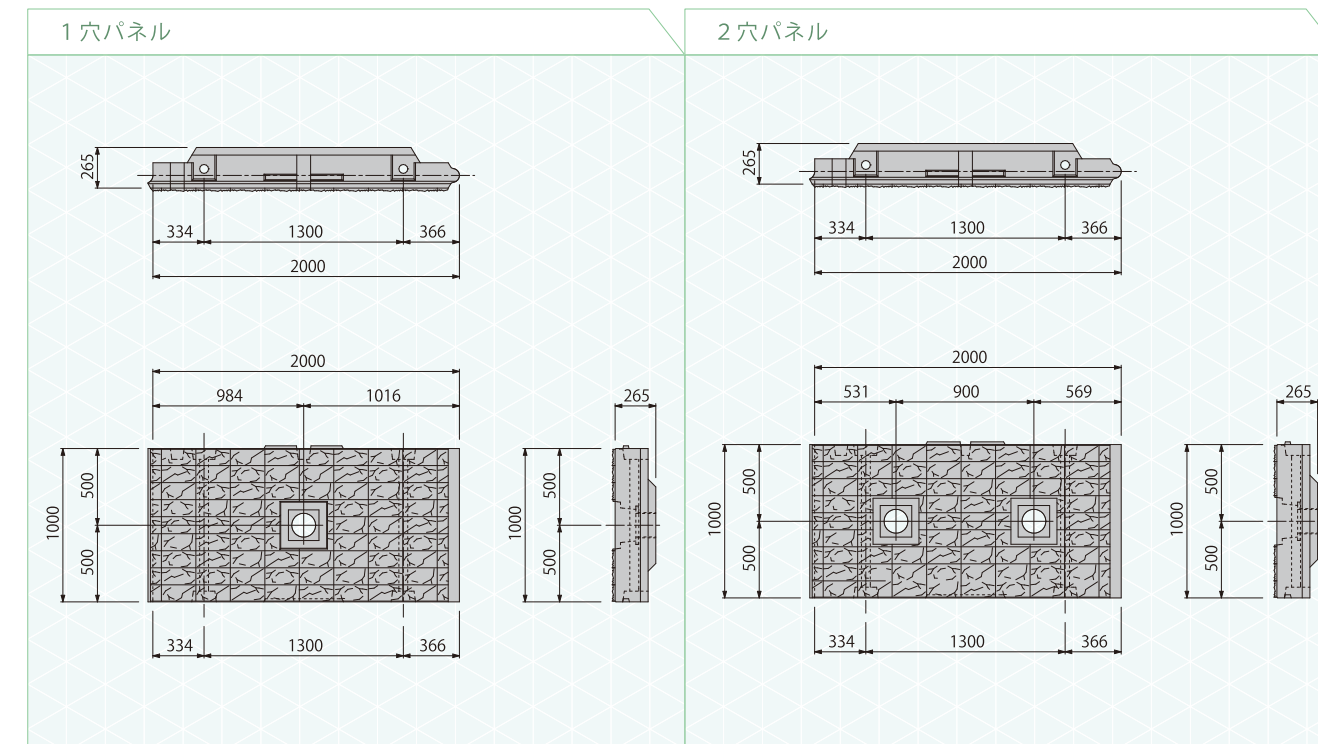


標準施工図



▶ 新製品 RBPウォール工法/切土法面補強工法(逆巻き)

形状図



※土質条件が悪い場合は、2穴タイプになります。

施工実績

